

東日本大震災被災支援委員会委員長 秋山 徹

明けましておめでとうございます。クリスマスから新年へ、多くの教会で新しく主の群れに加えられた方々を迎えて、喜びの時を過ごされていることと思います。今年も、支援ニュースを通して関東教区の被災教会の復興・再建の状況や教団の支援活動協力の状況をお伝えし、東日本大震災という出来事を通してキリストの体の宣教の働きをどのように担うかの課題とご一緒に取り組んでゆきたいと思っております。今年もよろしくお願いいたします。

2012年の関東教区の支援委員会を中心になされた歩みのなかで、達成された支援活動とこれからの課題として挙げられることを思いつくままに挙げてみました。(1) 会堂・牧師館等の復興・再建：地震の被害を受けた教区内の教会のうち、これまでに、益子教会、水戸自由が丘教会、桐生東部教会、原市教会、甘楽教会が教団からの支援を受けて修復を完了しました。会堂の新築計画と取り組んでいる水戸中央教会、宇都宮教会からの計画案が今年度(12年度)中に出される予定で、支援額が決まります。この二つの教会が最も大きな費用を要する見込みですので、この後、伊勢崎教会や宇都宮上町教会等の再建計画と必要額が決まると、そのほかの被災教会の分を合わせても大方の見通しがつくこととなります。(2) 幼稚園・保育園等の放射能汚染地よりの園児受入れ・退園等によって生じる負担軽減の補助はほぼ完了しました。園庭の除染については、すでに行っていますがこれについてはまだ方針が決まっていません。(3) 信徒宅の被害お見舞い、幼稚園・保育園職員の被害者お見舞いは、十分ではありませんが、これを行い完了しました。(4) アジア学院は施設全体に大きな被害を受け大規模の再建計画が進行中ですが、その中心にあるコイノニア棟が完成しました。教団から2000万円の援助を受けることができました。礼拝堂の建設等がこれからの課題です。(5) 昨年夏前より、毎月仙台と石巻のエマオで行われている被災地復興のボランティア活動へ教区より派遣し、続けられています。今後、この活動のウェイトが重くなってくることが期待されます。ご協力をお願いいたします。(6) 昨年6月にはPROK京畿中部老会の訪問団とともに茨城地区、栃木地区の被災教会で祈りを共にし、いわきの被災地の訪問もしました。また、「被災地で祈りを合わせる旅」を企画し、新潟の十日町を出発して会津の放射能センター、釜石新生教会、大船渡教会、石巻YMCA、仙台エマオのボランティア活動地などを訪問しました。今も荒涼と広がる津波被害の跡地や密接して建ち並ぶ仮設住宅の実態を見ることを通して、真の救援活動はこれから、との感を深くしました。

関東教区では諸教会の献金を教団の救援募金に集中するようにお願いしていますが、教団の募金総額は2012年11月末で438,328,319円、そのうち関東教区からは33,064,332円となっています。どれほど熱い思いで支援の働きに参加しているかがよくわかります。中長期にわたる支援活動の質と量を深めたいと願います。

### 日本基督教団東日本大震災救援募金

※現在の募金状況(2013年1月15日現在)

¥464,966,263「東日本大震災救援募金」

¥233,771,283「東日本大震災海外献金プロジェクト」

### 2、3月のボランティア募集

2月18日(月)～22日(金)

3月18日(月)～22日(金)

問合せ 小林祥人 (090-3529-5140)

## 第 6 回「東日本大震災」被災支援委員会報告

加藤久幸（委員会書記）

12月10日（月）、第6回被災支援委員会が大宮教会で開催されました。

はじめに、秋山委員長が、①「被災地被災教会で祈りを合わせる旅」、②教団対策本部会議（第17回）について、報告をされました。①については、支援ニュース48号の報告、49号の感想をご覧ください。）②については、被災から2年を前にして、教団の対策本部では変化があるようです。海外からの募金が芳しくないのが、支援事業については精査をしていくようです。組織についても、継続的に取り組めるようなとの観点から、常議員会で縮小の意見が出て、対策本部委員会の組み直しを行う予定とのこと。被災3教区の議長も、次回から陪席になります。この会議で、関東教区からの原市教会と甘楽教会の支援申請が承認されました。

金刺主事から会計報告がなされました。前回委員会（11月13日）の報告以降で、他教区などから約69万円の献金をいただきました。被災教区としての関東教区、そして、ボランティア派遣など被災教区の連帯をしている関東教区の働きが覚えられていると、伝え聞いています。

ボランティア派遣担当の小林委員から報告を受けました。関東教区と仙台エマオの「共催」のボランティア派遣は、7月・10月・11月と3回行われました。この経験から、課題が明確になったり変化してきていることがあります。仙台エマオでのボランティアが減少している現実を受けとめ、派遣期間の早期のお知らせ、ワーク内容・日数などの現在の様子を伝えることを念頭に、今後の派遣について協議しました。その内容は、支援ニュース50号に「冬季ボランティア募集」の記事として掲載しました（期間：1月21日～25日、2月18日～22日、3月18日～22日）。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

上記の以外のボランティア、仙台エマオで他の期間・日程を希望する場合、石巻エマオやハートフル遠野などを希望される場合、現段階では直接連絡して交渉していただくこととなります。受入れが可能になった時には、被災支援委員会に連絡をいただければ、教区からの派遣ということにして交通費補助の対象とすることを、決定しました。（交通費補助の限度額はJR普通乗車券の往復運賃としています。）委員会でも、情報共有と情報発信を進めていきたいと考えています。関心のある方は、委員会までお問い合わせください。

3. 1 1 記念礼拝は、3月11日（月）午後2時より、会場は宇都宮上町教会で行う予定です。

## 第 7 回「東日本大震災」被災支援委員会報告

小池正造(被災支援委員)

1月15日(火)、第7回「東日本大震災」被災支援委員会が大宮教会で行われました。

秋山委員長より、今後、被災後2年が経過するなかで、教会付属の乳幼児施設が、建物再建を始める動きがあります。これに対する支援対応について検討する課題が示されました。

金刺主事より、会計報告がなされました。前回報告以降22.3万円の献金がありました。感謝をいたします。被災地・被災教会で祈りをあわせる旅に関する支出が222,702円で確定しました。1月17日現在の収入合計は、36,636,250円、支出合計は、21,462,399円(内貸出額6,847,250円)、残高は、15,173,851円となります。

足利東教会からの支援申請について承認しました。桐生東部教会、竜ヶ崎幼稚園からの貸出申請について承認しました。

3. 1 1 記念礼拝を、3月11日(月)午後2時より、宇都宮上町教会で行います。説教者を秋山徹関東教区総会議長と決めました。なお、台湾長老教会総会議長 布興大達（プーシンターリー）氏より、メッセージをいただくこととなりました。台湾長老教会は、多額の献金と200名を超えるボランティアを派遣して下さいました。

次回委員会は、2月12日（火）に行います。